

情報システムユーザースキル標準 (UISS)
(09)IS 活用
(研修ロードマップ)

2009. 03

社団法人日本情報システム・ユーザー協会
情報システムユーザースキル標準センター

独立行政法人 情報処理推進機構
経済産業省

1. 研修コース群(体系図)	(03)-2
2. 研修コース一覧	(03)-3
3. 研修コースの内容	(03)-4

IT 研修コース体系図 (09) IS 活用

=当該領域研修コース
 =他の領域研修コース

	初級	中級	上級	特論
テクノロジー		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-image: radial-gradient(circle, #ADD8E6 1px, transparent 0); background-size: 4px 4px; text-align: center;"> モニタリング手法 </div>		
マネジメント	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ADD8E6; text-align: center;"> IS活用促進初級 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ADD8E6; text-align: center;"> IS活用促進中級 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ADD8E6; text-align: center;"> IS活用促進上級 </div>	
ストラテジ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-image: radial-gradient(circle, #ADD8E6 1px, transparent 0); background-size: 4px 4px; text-align: center;"> 事業戦略初級 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-image: radial-gradient(circle, #ADD8E6 1px, transparent 0); background-size: 4px 4px; text-align: center; margin-top: 10px;"> 戦略立案初級 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ADD8E6; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> データの戦略活用 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-image: radial-gradient(circle, #ADD8E6 1px, transparent 0); background-size: 4px 4px; text-align: center;"> 戦略立案中級 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-image: radial-gradient(circle, #ADD8E6 1px, transparent 0); background-size: 4px 4px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> インダストリ アプリケーション動向 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-image: radial-gradient(circle, #ADD8E6 1px, transparent 0); background-size: 4px 4px; text-align: center;"> オペレーションズ・ マネジメント概論 </div>

IT 研修コース一覧 (09) IS 活用

分類	コース名	研修方法			研修期間		ページ	備考 (参照先)
		eラーニング	講義	ワーク ショップ	eラーニング (標準時間)	クラス (標準日数)		
初級	IS活用促進初級		○			1 日間	(09)-4	
	事業戦略初級	○	○		6 時間	1 日間	(01)-4	(01) 事象戦略・IS戦略
	戦略立案初級	○	○		6 時間	1 日間	(01)-5	(01) 事象戦略・IS戦略
中級	IS活用促進中級		○			2 日間	(09)-5	
	データの戦略活用		○			1 日間	(09)-6	
	モニタリング手法		○			1 日間	(04)-4	(04) IS 戦略実行マネジメント
	戦略立案中級		○			3 日間	(01)-8	(01) 事象戦略・IS戦略
上級	IS活用促進上級		○	○		2 日間	(09)-7	
特論	オペレーションズ・マネジメント概論		○			2 日間	(01)-12	(01) 事象戦略・IS戦略
	インダストリアプリケーション動向		○		6 時間	1 日間	(06)-9	(06) IS 企画

<div style="text-align: right;">コース名</div> 研修コースの内容	IS活用促進初級
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input checked="" type="checkbox"/> 初級 <input type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースは、IS活用の観点から、利用実態調査を実施し、利用促進の面からISの機能に対して改善要求を行う基本的な知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、ISの利用実態調査と評価の手法、ISへの改善要求を学習する。</p>
受講対象者	ISの利用実態調査を行い、改善要求ができることを目指す者
研修方法	講義
研修期間	標準日数 1日間（クラスルーム）
スキル修得目標	<p>システム評価や利用実態調査結果の分析と改善要求をすることができる</p> <p>事業成果を把握し改善要求を取りまとめることができる</p> <p>ISの機能に対する改善要望について、利用促進の面から、理由を説明することができる。</p> <p>改善目標を設定することができる</p> <p>システム利用実態調査と評価を行うことができる</p> <p>システムの運用実態を調査することができる</p>
関連知識	<p>情報システム・ユーザー利用実態の調査（モニタリング、目標達成度）</p> <p>PDCA サイクル（定期的レビュー、評価のフィードバックとアクション）</p> <p>バランススコアカード</p> <p>原因分析（ブレインストーミング、アンケート調査、資料調査、面接調査、各種データ収集、分析、加工）、問題解決手法、</p> <p>CSF(Critical Success Factors)、KPI(Key Performance Indicator)、KGI(Key Goal Indicator)</p> <p>リスク分析手法、リスク分析手法、リスク対策に関する知識（回避・予防・軽減・移転・保有）</p>

<div style="text-align: right;">コース名</div> 研修コースの内容	IS活用促進中級
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input type="checkbox"/> 初級 <input checked="" type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースは、ISが重要な役割を担うビジネスモデルの実現に向け、特にISの啓発普及や情報リテラシーの向上策を企画し実行するなどISの活用策を主とする継続的な改善活動に取り組むことができる応用的な知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、情報リテラシーの把握と向上、IS活用の啓発普及、業務改善活動の目標達成度評価を学習する。</p>
受講対象者	特にISを活用して目標を実現する業務のオペレーションに携わることを目指す者
研修方法	講義およびワークショップ
研修期間	標準日数 2日間（クラスルーム）
スキル修得目標	<p>ビジネスモデルを実現するために必要な情報リテラシーについて、現状を把握し、その向上策を企画することができる</p> <p>IS活用の啓発普及のための計画策定をすることができる</p> <p>IS活用の啓発活動のための継続的な施策(社員教育計画と啓発推進者の人材育成計画、報償制度など)を構築することができる</p> <p>実施効果を定期的に測定し、見直しを実施することができる</p> <p>業務執行レベルでのコントロール要件を設定することができる</p> <p>IS投資効果分析を行うことができる</p> <p>次期ビジネスモデルや IT アーキテクチャの企画に対しフィードバックを行うことができる</p>
関連知識	<p>評価制度(評価指標)、情報リテラシー教育事例</p> <p>IS活用教育の事例、人材開発手法、人間関係マネジメント(動機付けなど)、チェンジマネジメント</p> <p>IT 投資効果分析、IT 投資効果の評価(ユーザー満足度、コントロール要件、アンケート調査)</p> <p>PDCA サイクル(定期的レビュー、評価のフィードバックとアクション)、バランススコアカード</p> <p>資産価値評価(ROI 評価、経済性評価、IT 投資効果分析、現在価値換算)</p>

<div style="text-align: right;">コース名</div> 研修コースの内容	データの戦略活用
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input type="checkbox"/> 初級 <input checked="" type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースは、蓄積された業務データの有効活用策や、戦略データの取りまとめなどに関する、実践的な知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、ナレッジマネジメント・BI ツールに関する知識やデータの戦略的活用事例などを学習する。</p>
受講対象者	過去の業務データから次なる改善の検討に携わることを目指す者
研修方法	講義およびワークショップ
研修期間	標準日数 1日間（クラスルーム）
スキル修得目標	<p>利用目的に応じた戦略データの要求を取りまとめることができる</p> <p>適切なISの選択と導入のマネジメントを実施することができる</p> <p>パッケージソフトの導入や利用促進の体制・環境を整備することができる</p> <p>成果収集とその成果を共有するための環境整備を行うことができる</p> <p>ナレッジ資産の蓄積や活用のため統括的マネジメントを実施することができる</p>
関連知識	<p>データの戦略的活用事例、統計解析手法、ナレッジマネジメント</p> <p>BI ツールに関する知識</p> <p>分析手法(作業分析, PTS 法, ワークサンプリング法ほか)</p> <p>検査手法(OC 曲線, サンプリング, シミュレーションほか)</p>

<div style="text-align: right;">コース名</div> 研修コースの内容	IS活用促進上級
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input type="checkbox"/> 初級 <input type="checkbox"/> 中級 <input checked="" type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースは、ISが重要な役割を担うビジネスモデル変革の実現に向け、ISの活用策を主とする継続的な改善活動とフィードバックについて、動機付け、人間関係のマネジメントを含む課題の発見と解決を指導・管理できる高度かつ専門的な知識の修得を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 当コースでは、情報リテラシー向上やチェンジマネジメントを含むIS活用の啓発普及、業務改善活動の目標達成度評価を学習する。 ○ 当コースは、人間関係マネジメント(動機付けなど)、チェンジマネジメントをワークショップで修得する。
受講対象者	特にISを活用して目標を実現する業務のオペレーションを指導または管理する立場を目指す者
研修方法	講義およびワークショップ
研修期間	標準日数 2日間 (クラスルーム)
スキル修得目標	<p>IS活用の啓発活動のための継続的な施策(社員教育計画と啓発推進者の人材育成計画、報償制度など)を構築することができる</p> <p>投資効果について、計画段階から CIO や経営者の支持を獲得することができる</p> <p>関係者の理解と賛同を得て実施することができる</p> <p>情報リテラシーに関する教育や施策の成果とそれを示す指標の設定や評価制度を構築することができる</p> <p>業務執行レベルでのコントロール要件を設定することができる</p> <p>次期ビジネスモデルや IT アーキテクチャの企画に対しフィードバックを行うことができる</p> <p>ナレッジ資産の蓄積や活用のため統括的マネジメントを実施することができる</p>
関連知識	人間関係マネジメント(動機付けなど)、チェンジマネジメント、評価制度(評価指標)、IT 投資効果分析、IT 投資効果の評価(ユーザー満足度、コントロール要件、アンケート調査)、情報システム・ユーザー利用実態の調査(モニタリング、目標達成度) リスク分析手法、リスク分析手法、問題解決手法